



平成 31 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
 代表者名 取締役社長 大澤 正典
 (コード番号 4828 東証第一部)
 問合せ先 専務取締役 片山 博
 電 話 03-3510-1600

平成 31 年 3 月期 通期業績予想および配当予想の修正 (増配) に関するお知らせ

平成 30 年 9 月 27 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日) の通期業績予想および 1 株当たり配当予想につき、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期 通期業績予想の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,700	880	870	550	97.37
今回修正予想 (B)	15,200	1,060	1,050	660	116.60
増減額 (B - A)	500	180	180	110	
増減率 (%)	3.4%	20.5%	20.7%	20.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	13,479	757	722	484	80.99

(2) 個別業績予想

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,400	810	530	93.83
今回修正予想 (B)	14,900	930	570	100.70
増減額 (B - A)	500	120	40	
増減率 (%)	3.5%	14.8%	7.5%	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	13,219	778	526	87.97

(注) 前回発表予想の 1 株当たり当期純利益は、平成 31 年 1 月 11 日に第三者割当により処分した自己株式 54,000 株の影響が考慮されておりません。

(3) 修正の理由

堅調な顧客の情報化投資動向を背景に、受注が計画を上回って推移しており、売上高は増加する見込みです。これに伴い、利益面も増加する見込みです。

連結業績予想は、売上高 15,200 百万円（前回業績予想比 500 百万円増）、営業利益 1,060 百万円（前回業績予想比 180 百万円増）、経常利益 1,050 百万円（前回業績予想比 180 百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益 660 百万円（前回業績予想比 110 百万円増）となる見込みです。

個別業績予想は、売上高 14,900 百万円（前回業績予想比 500 百万円増）、経常利益 930 百万円（前回業績予想比 120 百万円増）、当期純利益 570 百万円（前回業績予想比 40 百万円増）となる見込みです。

2. 平成 31 年 3 月期 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 30 年 9 月 27 日 公 表)	13 円 00 銭	13 円 00 銭	26 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		19 円 00 銭	32 円 00 銭
当 期 実 績 (平成 31 年 3 月期)	13 円 00 銭		
前 期 実 績 (平成 30 年 3 月期)	11 円 00 銭	14 円 00 銭	25 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、当社を取り巻く事業環境の見通し、業績見込み、当社の財務体質等を総合的に勘案して、株主への利益還元に努めております。

株主還元は、配当金の支払いにより行う方針であり、安定的な配当の継続に努めるとともに、連結配当性向が中長期的に 30%を上回るよう努めることを基本的な方針としております。

平成 31 年 3 月期の期末配当予想につきましては、上記の基本的な方針と通期業績見込み等を勘案し、直近の期末配当予想 1 株につき 13 円に対し 6 円増配し、1 株につき 19 円に修正いたします。

以 上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。